

記念講演

【演題】 うちどく 「家読で豊かな地域づくり・国づくり」

【講師】 さがわ つぐすけ 家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮 氏



【プロフィール】

1947年福島県矢祭町生まれ。

家読推進プロジェクト代表、子ども司書推進全国協議会顧問、朝の読書推進協議会顧問、矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会顧問。

1995年「朝の読書」提唱者 林公教諭・大塚笑子教諭と出会い、朝の読書推進協議会を発足し、「朝の読書」の全国運動を始める。

2006年「朝の読書」の家庭版として「家読（うちどく）」運動を企画・提唱。2008年全国の教育委員会・図書館・学校関係者らと任意団体「家読推進プロジェクト」を設立。「家読」とともに「子ども司書制度」の全国運動を展開中。

編集者時代に河合隼雄著「こころの処方箋」、辺見じゅん著「ダモイ遙かに」、高木敏子著「ラストメッセージ」など多数の出版企画に携わる。著書に「写真集作家の肖像」「朝の読書はもうひとつの学校」など。

家読（うちどく）とは？

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味します。学校で行われている「朝読（あさどく）」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。読書を通して家族のコミュニケーションを図り、「家族の絆づくり」をすることを目的としています。

読書は個人的な体験ですが、感想を話し合ったり、人にすすめたりして言葉にすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高めることにもつながります。家読は、子どもと大人が一緒に成長し、心の豊かさをはぐくむ運動でもあります。

【家読実践例】

- ◎ 家族で同じ本を読んだり、それぞれが選んだ本を、それぞれのペースで読む。
- ◎ 読んだ本について感想を述べあう。
- ◎ 家読をする曜日や時間を決めて実践する。
- ◎ 読んだ本は、家読ノートや家読カレンダーを作り記録する。



※詳しくは、家読推進プロジェクトホームページ「うちどく.com」をご覧ください。

家読推進プロジェクトホームページ

<http://uchidoku.com/>

第6回 読書活動 日本一の まちづくり 推進大会

大会テーマ

広がれ読書の輪 市民の絆

- 日時 : 平成25年1月12日（土）午後1時10分～4時
- 会場 : 出水市音楽ホール
- 主催 : 出水市、出水市教育委員会
- 後援 : 出水市読書活動日本一のまちづくり推進会議
鹿児島県図書館協会

プログラム

司会
中村 千里、松元 妃美瑚
(出水市立出水商業高等学校)

- ◇ 受付 12:30~13:10
- ◇ オープニング 13:10~13:20
出水市少年少女合唱団 「輝くために」「出水市読書の歌~すてきな宝物~」
- ◇ 開会行事 13:20~13:30
開会のあいさつ 出水市長 渋谷 俊彦
来賓祝辞 出水市議会議長 外 徳男 様
- ◇ 表彰 13:30~13:40
読書活動優秀実践地域表彰
読書活動優秀実践校・園表彰
- ◇ 読書活動推進事業報告 13:40~13:50
第二次出水市読書活動推進計画概要発表
- ◇ 読み聞かせグループ実演 13:50~14:30
絵本「はつゆめはひみつ」 お話しボランティアグループ 紙ふうせん
大型紙芝居「かさじぞう」 読み聞かせグループ そらいろのたね
ペープサート「3びきのこぶた」 読み聞かせグループ 虹色のゆめ

<休憩>

- ◇ 記念講演 14:40~15:55
演題 「家読で豊かな地域づくり・国づくり」
講師 家読プロジェクト代表 佐川 二亮 氏
- ◇ 閉会行事 15:55~16:00
閉会のあいさつ 出水市教育委員会教育長 溝口 省三

移動図書館 臨時開館 (15:00~16:30)

児童図書、一般図書、紙芝居、文庫本、大きい活字の本など、約2000冊の本を積んでいます。

本日は貸出しも行いますので、是非お立ち寄りください。



表彰団体の御紹介



○ 読書活動優秀実践地域表彰

◇前田自治会

自治会の役員会等で読書活動についての話をしたり、放送を行った。子ども会行事で、ボランティアを招いて読み聞かせ会を実施したほか、自治会の絆の会において、老人会・保護者とともに読み聞かせを行い、世代間の交流も積極的に行っている。

また、新たに自治会文庫を設置し、読書環境の整備にも力を入れている。

◇旭自治会

自治会の役員会で読書活動についての話をしたり、自治会放送で読書活動の放送を行った。夏休み期間中は、ラジオ体操後、毎日子どもたちによる朝読みの放送を行っている。平成20年に設置した自治会文庫は、蔵書が400冊近くになり、読書環境も整備されている。

また、自治会便りで、親子読書の勧めや「子どもといっしょに読書の日」を掲載する等、啓発にも努めている。

○ 読書活動優秀実践校・園表彰

◇出水市立西出水小学校附属紫翠幼稚園

園全体の読書活動を推進するに当たり、「ブックタイム」を設け、教師が園児の年齢別という観点でも読書指導を行っていることが特徴的である。また、幼小中高で重視している命の教育にも力を入れており「ハートタイム(命の保育)」では幼児に分かりやすく命の尊さを伝えるための絵本や図鑑を活用している。年長児の保護者が降園時に読み聞かせを行う等、保護者との連携も図られた読書活動を展開している。

◇出水市立上場小学校

外部講師を招いて、毎学期お話をし、図書委員の子どもたちも読書発表を行っている。また、「読書おみくじ」や読書クイズ「主人公をさがせ」、カバーでのバッグ作り、読書郵便等、読書活動を楽しく行う活動に工夫が見られる。学級通信等で「親子読書の日」の推進を呼びかけ、家庭学習での音読カードの活用にも保護者の協力を得ているほか、緑陰読書や子ども会での読み聞かせ等、地域を挙げて読書活動に取り組んでいる成果が見られる。

◇出水市立出水商業高等学校

中高連携を踏まえた学校図書館運営を実践するとともに、高校生が小学校に読み聞かせに行くようになり、読書を通じた小中高連携に力を入れ始めている。文化祭においても、読書に関するステージや手作りしおりコンテスト等、読書に着目した多様な取組が行われている。また、学校全体の読書量調査は、学校図書館だけでなく、電子書籍や購読本等も含め、生徒の実態に応じた読書傾向をとらえる工夫も見られる。

◇社会福祉法人いずみ福祉会 鹿島保育園

保育園内における読み聞かせは、年間1,000回近くに及び、園児への読み聞かせは毎日行っている。絵本の貸出しも行っており、年間150冊以上借りた園児には、読書賞を贈呈するなど、読書意欲の向上について工夫を行っている。

また、読書活動推進の職員育成として、セミナーへの参加や園内での研修を行い、職員の資質向上を図っている。